

奈良県 平城っ子のスマイルカワ活（奈良市 学校・クラブ）

みんなに一番伝えたいこと

一年間の総合的な学習の時間で、地域を流れる川には、自分たちの生活に関わる10の役割があることを知りました。しかし、その役割の一部がポイ捨てされるプラスチックゴミによって失われようとしていたのです。海もない奈良県の秋篠川が、世界中の海の生き物を苦しめていたのです。

だから地域のゴミ問題を無くすために、まず私たちが海のためになるエコ活動をはじめました（カワ活）。そして流域の農家、漁師、市民にこの新聞を渡し、川ワンチームとなりみんなで守るチームを結成しました。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

私たち100名は、「小さなことでも、集まれば大きな力になる」を合言葉に、秋篠川を未来へつなぐ行動をしてきました。

どの地域でも川はあります。そしてポイ捨て問題もあります。これにより海の生物は困っています。全国の人々で川を守り、海を守りましょう。



コーディネーターからのメッセージ

川の役割について、地域の人や専門の人に話を聞いていろんな役割があることを知ることができましたね。ごみ拾いをして身近な川の様子を知ることから、私たちの生活が地球環境問題につながっていることに気づいたのがすばらしいと思います。

未来へ向けて川の役割を守るために、これからも一人ひとりがエコを心がけて、世界遺産全国サミットではより多くの人に伝えることで、もっと大きな力になることを期待しています。（奈良市事務局）

和歌山県 もっとの会（有田市 地域の友だちのクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

みんなのお家（地球）をキレイに大切に！！を合言葉に2007年3月より毎月一度親子で清掃活動をしてきました。

0～70歳まで3世代で参加される方もおり、これまで2500名以上の方が参加。壁新聞の子どもたちの言葉にありますように、幼い頃から続けて活動に参加することで、自然や環境の事を肌で感じる事が出来ているようです。自分の家でない公共の場をボランティアと意識せず自主的に行動しています。

風の日も雨の日もありましたが、活動＆遊びを通して、自然の中でキラキラ輝く子どもたちの探求心や想像力には毎回大人のサポーターたちが驚かされ、大切な事は何かを考える機会にもなっています。



わたしたちのSDGsアクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

毎回約一時間のおそうじの後は、「絵本の読み語り」「季節に応じた手づくりのイベント」を行っています。学校や年令のちがう子ども達がそれぞれ親と一緒に様々なことに取り組みます。時には感想の場や得意なことを披露する場となり、笑顔であふれています。この経験や触れ合いが心を豊かにし、次世代の子ども達にも引き継がれていく活動となりますように、全国の皆さまと共に頑張ってください！



コーディネーターからのメッセージ

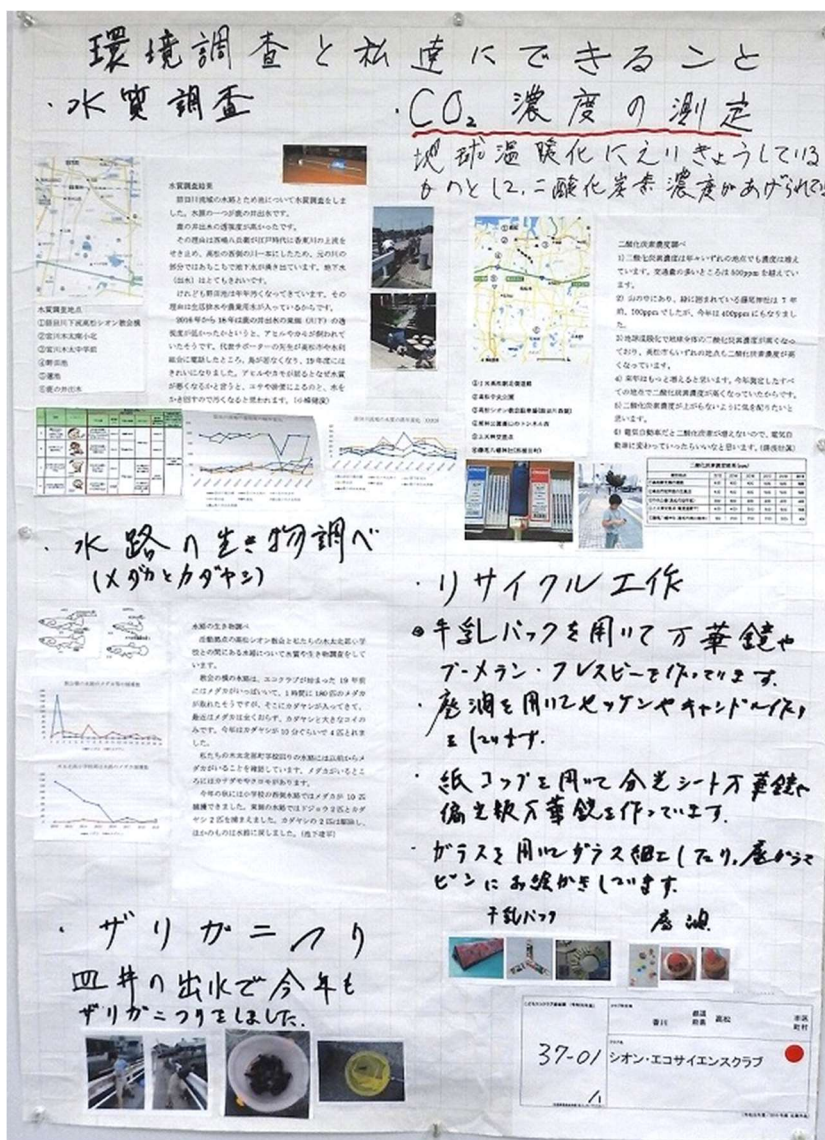
清掃してくれている干潟には、環境省のレッドリスト絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「ハクセンシオマネキ」が生息していますが、そこに毎回たくさんのごみが打ち上げられていることは、子どもたちの心を痛めていることと思います。

そんな中、おそうじを楽しい活動として盛り上げてくれているサポーターの方々には本当に感謝いたします。「みんなのおうち(地球)をきれいに大切に」という合言葉のもと、今後もっと活動の輪が広がり、活動が長く続くことを願っています。(有田市事務局)

香川県 シオン・エコサイエンスクラブ（高松市 地域の友だちのクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

- 活動地域の環境調査
 - 1) 近隣の水路の水質調査。透視度(0~200cm)、COD 測定
 - 2) 近隣水路の生き物調査（メダカとカダヤシの生息調査）
 - 3) 高松市内の二酸化炭素濃度の測定
- リサイクル工作 廃油石鹸、廃油キャンドル、牛乳パック工作(万華鏡、飛行機、ブーメラン等)
- 自然体験、博物館訪問



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

災害の少ない、住みよい地球の実現に向けて頑張りましょう。私たちが出来ることを頑張りましょう！



コーディネーターからのメッセージ

シオン・エコサイエンスクラブのみなさんは、川流域の水路やため池の水質調査で、なぜきれいなのか・なぜ汚れているのか原因を追究し、環境の改善を考えていることはすごいことです。また、市内の交通量が多いところから山林まで足を運んで CO₂ の濃度を測定し、増え続ける CO₂ に対策はないのか考えられています。自分たち、一人ひとりが何をすれば CO₂ の排出を減らすことができるのかもまとめればよかったと思います。水路の生き物調べでは、メダカやザリガニを捕獲することができて楽しさが伝わってきます。生き物たちがたくさん住めるような環境を守ってほしいです。（高松市事務局）

宮崎県 姫城中ボランティア（都城市 学校・全校のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

この姫城中エコ新聞は生徒活動や姫中生の行う姫城中ボランティアでの活動についてまとめました。また、今年度から給食の時に使うトレーをランチマットに変えたことで水道使用量が減ったので、そのことについて、表を使って分かりやすくまとめました。さらに、洗剤を使わないエコなトイレ清掃。残飯の活用についても記載しました。

わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

「姫ボラ」は全校生徒を対象としたボランティア組織で、平成9年に結成し、学校全体で活動しています。

今年度は水道使用量減少を目指して、全校生徒で給食時のおぼんをなくしランチマットを使うようにして、成果が出ました。

みなさんの活動を参考にしながら、環境を意識した活動をさらに増やしていきたいと思います。



コーディネーターからのメッセージ

学校全体でボランティアに取り組んでいることにまず感謝です。

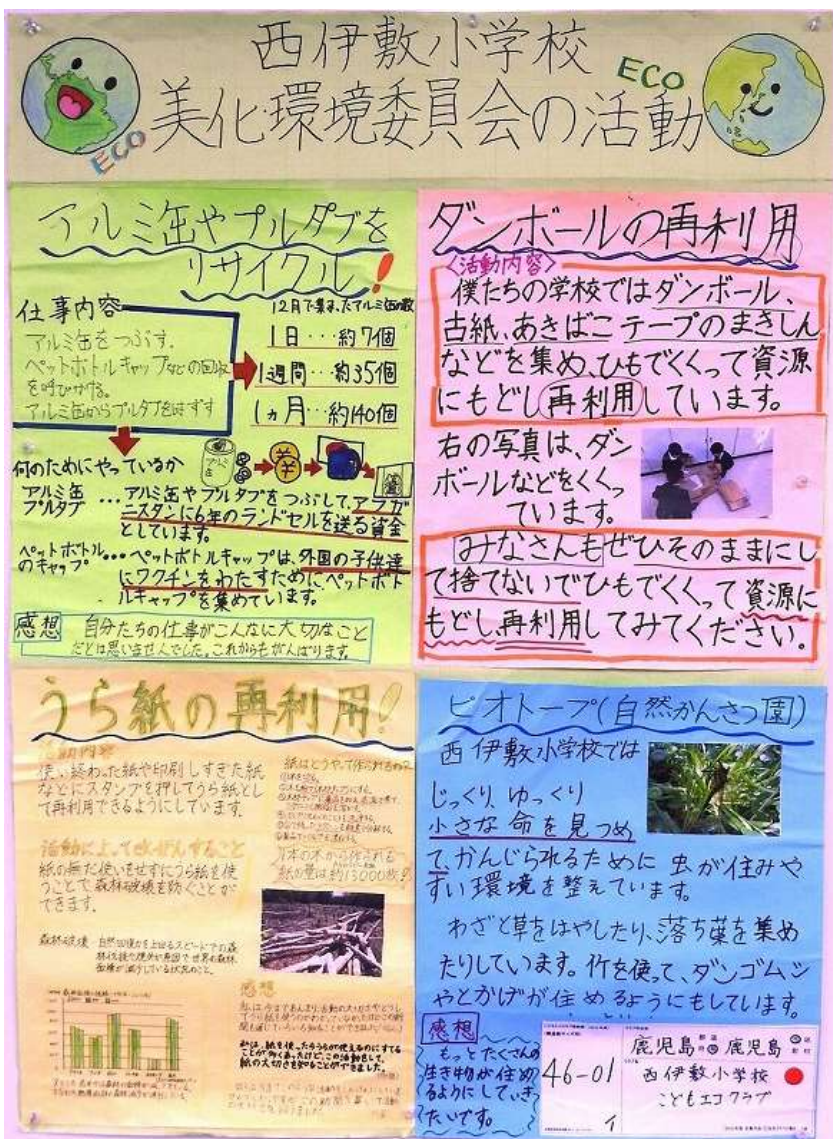
活動も校内だけに限らず、地域への貢献も活発に行われています。さらに自宅でもなかなかやらないトイレ清掃や、300人の学校での水の使用量の減量には感心しました。

今後、さらにさらに後輩のみなさんへこれらのことが引き継がれることを信じています。（宮崎県事務局）

● 鹿児島県 西伊敷小学校こどもエコクラブ（鹿児島市 学校・全校のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

わたしたちは、毎日取り組んでいる活動の中でも、アルミ缶を集めることに力を入れてきました。「アフガニスタンの子どもたちにランドセルを送る」という思いのもと、学校全体で取り組んできました。一人ひとりが、何のために、なぜ行っている活動なのかが分かると、自分から進んでやろうという気持ちになってくれます。これからも、なぜこんな活動をするのかを伝えていながら、取り組んでいきたいです。



わたしたちの SDGs アクション！



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

全国の仲間へのメッセージ

いろいろなクラブの活動を見て、地球の環境を調べたり、地域の取り組みを調べたりなど、様々な活動をしていることに驚きました。わたしたちも学校全体で取り組んでいるのでいろいろと難しいところもありますが、学校でできることでは何があるかをこれからも考え、この地球環境のためにみんなで一つになって取り組んでいきましょう。



コーディネーターからのメッセージ

西伊敷小学校こどもエコクラブでは、学校全体で環境を守る意識が高く、様々なエコ活動に取り組んでおられます。新聞は、写真やイラスト、グラフなどを使い分かりやすくまとめられていました。

今回、新聞にまとめて活動を振り返ることで、それぞれの活動の大切さを改めて確認できたのではないのでしょうか。

これからも学校、家庭、地域など身近な場所で環境を守るためにできる事を続けてください。（鹿児島県事務局）

壁新聞 幼児クラブ部門の受賞壁新聞

全国フェスティバルへの参加が難しい保育園・幼稚園のクラブなどメンバー全員が幼児のクラブには、別途審査のもと「ミールケア・エコまる賞」を贈呈しています。従来なら受賞クラブの活動場所に「エコまる」が出向いて表彰状を授与し、メンバーと楽しい体験プログラム「エコまるのエコ教室」を行うのですが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の予防のため、賞状と副賞の送付にて表彰式に代えさせていただきました。

滋賀県 草津市立常盤幼稚園（草津市 幼稚園のクラブ）

みんなに一番伝えたいこと

「ゴミ 発見！」「こっちも、ゴミ 発見!!」。

はじめは、見つけることや拾うことが楽しかったけど、どんどんバケツいっぱいゴミが増えてきて、だんだん悲しくなりました。でも近所のおじさんが、手紙でぼくたちのことをほめてくれました。これからも続けていきたいと思います。



わたしたちの SDGs アクション!

12 つくる責任
つかう責任



壁新聞の大きな画像はこちらから♪

サポーターからのメッセージ

散歩しているとゴミが道端や畔、中には田畑に散乱していることに気が付き、胸を痛めていた子どもたちでした。実際にゴミ拾いをしてみるとたくさんのゴミが集まり、憤りを感じている子どももいました。自然を守るのも壊すのも人間の行い次第ということを実感したようです。

また、地域の方がたまたま子どもたちの活動を見て、温かい励ましの手紙を送ってくださり、子どもたちの心にも響いたようです。自分の行動を振り返る会話を子どもたち同士でしていたことが印象的でした。「エコ探検隊」に誇りを持ち、活動を通してこれからも自然と共に生きる豊かな感性を育てていきたいと思っています。

ミールケア・エコまる賞

この度は栄えある受賞、大変おめでとうございます。

一つゴミを拾えば、一つきれいになる。これが皆で毎日続ければ、きれいな場所が増え、きれいな心を持った皆が元気に遊べる場所が広がりますね！お友達とたくさんお話ししながらのエコ活動。これからずっと先まで記憶に残りますので、今の時間を存分に楽しんで、ぜひ続けてくださいね。（株式会社ミールケア 人事部 部長 牧野 哲雄さんより）